

学校再編校地選定評価表(案)

常盤・社地区小学校地選定評価  
 ◆R7年の推計児童数(常盤239人/社78人/計317人) ※R2.12現在  
 ◆R7年の必要教室数(普通教室12(35人)、特別支援学級3~5)

評価基準:◎良い ○普通 △劣っている

				東小学校		南小学校		
指標	項目	視点	考察	評価	考察	評価		
1 基礎要件	防災面	断層帯	有無	有(付近)	△	無	◎	
		災害想定区域(土砂災害)	想定区域範囲	敷地内一部が土石流警戒区域	△	区域外	◎	
		災害想定区域(浸水)	想定区域範囲(1度/100年、1度/1000年)	区域外	参考	区域外(1度/100年)、区域内(1度/1000年)	参考	
		防災拠点機能	収容人数(指定避難所として1人/4㎡)、非常時供給電力	体育館延床面積1,002㎡:収容人員100人(フロア面積400㎡) 太陽光発電20kWあり	◎	体育館1,092㎡:収容人員128人(フロア面積512㎡) 太陽光発電29kWあり	◎	
	立地状況	形状・面積 拡張性・将来性	施設の複合化(増築)等への対応 ※学校教育法学校設置基準第8条 関係:小学校運動場基準(児童数241人以上720人以下:2,400㎡+10× 児童数(317人-240人)=3,170㎡(運動場必要最低面積)	校地長方形3,3427㎡ グランド9,275㎡ 複合化問題なし	◎	校地正方形35,510㎡ グランド12,915㎡ 複合化問題なし	◎	
				交通量	学校周辺の交通事情	大きな車道はない	参考	県道が隣接しているが交通量は少ない
	利便性	大型バスの乗り入れ	校外活動等で活用するバスの乗り入れ可否	可能	◎	可能	◎	
			主要道路(国道・県道・都市計画道路) に近接している	交通アクセス	県道大町麻績インター千曲線隣接 県道大町明科線まで500m	参考	国道147号線まで500m	参考
			公共交通機関	最寄りの駅(駅との距離)	信濃大町駅(1.3km 徒歩13分)	参考	信濃常盤駅(370m 徒歩4分)	参考
			電車乗り換え(電車を利用した場合)	無	参考	無	参考	
				◎ 3 ○ 0 △ 2			◎ 5 ○ 0 △ 0	
2 教育環境	快適性	騒音、振動、臭気等	工場等の騒音、振動、悪臭の状況	無	◎	無	◎	
		周辺施設の立地状況	頻繁な車の出入りを伴う施設の有無	無	参考	無	参考	
	学校規模	適正規模の確保	建築年(経過年数)	S55(40年)	△	S51(44年)	△	
			大規模改造年(経過年数)	H12大規模改造(20年) H25耐震、大規模改造(7年)	△	S60、61一部校舎新築、改築(34年) H12大規模改造(20年)	△	
			バリアフリー化の進捗度	一部達成できていない	△	一部達成できていない	△	
			エレベーターの設置	無	△	無	△	
			防音、気密性	防音、気密性低い	△	防音、気密性低い	△	
			給排水設備の状況	全給排水設備の改修が必要	△	全給排水設備の改修が必要	△	
			給食室の老朽化	躯体を含め改修が必要	△	躯体を含め改修が必要	△	
			普通教室の面積(高学年棟)	662㎡	◎	845㎡	◎	
			普通教室の面積(低学年棟)	740㎡	◎	544㎡	◎	
			学校全体の児童収容人数	550人規模	◎	600人規模	◎	
			専科教員の配置有無(R7~R8推計)	有(2名)	参考	有(2名)	参考	
			普通教室数(建設当初)	18学級(高9 低9)	◎	19学級(高12 低7)	◎	
			給食提供能力	給食対応可	◎	給食対応可	◎	
			プールの使用状況	使用可	◎	使用可	◎	
	地域連携 (周辺施設) (校外活動)	学校の有無 児童クラブの有無 保育園・幼稚園の有無 福祉施設の有無 医療機関の有無 公共施設等の有無	他校との連携交流	-	-	-	-	
			児童クラブの状況	学校内に有	参考	ふれあいプラザ内に有	参考	
			園児との交流(施設との距離(概ね1km圏内))	有 どんぐり保育園(2.5km)、大町幼稚園(1.25km)	△	有 あすなる保育園(100m)	◎	
			高齢者等との交流(施設との距離(概ね1km圏内))	有 北アルプスの風(700m)	◎	有 ふれあいプラザ(300m)、銀松園(2km)	◎	
医療機関との常時及び緊急時の連携			有	参考	有	参考		
常時及び緊急時の連携、校外活動等			社公民館、大町警察署	○	常盤公民館、常盤駐在所、ふれあいプラザ	◎		
				◎ 9 ○ 1 △ 9			◎ 11 ○ 0 △ 8	
3 通学	安全性	通学路の安全性	歩道の整備(学校周辺)	問題なし	◎	問題なし	◎	
			夕方の交通量(監視の目)	交通量少ない	◎	交通量少ない	◎	
			安全な通学路の確保	問題なし	◎	問題なし	◎	
			死角が少なく、見通しの良い地形であるか	良好	◎	良好	◎	
	手段	最も通学に時間を要する児童	電車	電車約10分(安曇沓掛⇔信濃大町)+徒歩13分 登校時:本数少ない、下校時:1時間1本程度	参考	電車約6分(信濃大町⇔信濃常盤)+徒歩4分 登校時:本数多い、下校時:1時間1本程度	参考	
			徒歩通学を要する児童数	社地区60人 → 60人 ±0 常盤地区239人 → 0人 -239	△	社地区60人 → 0人 -60 常盤地区239人 → 239人 ±0	○	
			スクールバス	清水公民館(上橋回り):8km 西山公民館(宮本橋回り):10km 常盤239人、社18人 ※大型バス約7台以上必要	△	宮本橋回り(関田、曾根原、宮本):7km 上橋回り(松崎、館ノ内、山下):8km 常盤0人、社78人 ※大型バス約2台必要	○	
		通学時間(※バス乗車時間は停留所数にもよるが、4分/1kmで算出)	上橋回り(最長):自宅→(仮称)清水公民館バス停(徒歩10~15分)+バス乗車時間32分 宮本橋回り(最長):自宅→(仮称)西山公民館バス停(徒歩10~15分)+バス乗車時間40分	△	宮本橋回り(最長):自宅→社公民館下バス停(徒歩10~15分)+バス乗車時間28分 上橋回り(最長):自宅→(仮称)山下バス停(徒歩10~15分)+バス乗車時間32分	○		
		スクールバスの学校周辺乗降場所の確保	学校正面	◎	学校敷地内可能	◎		
				◎ 5 ○ 0 △ 3 ◎計 17 ○計 1 △計 14			◎ 5 ○ 3 △ 0 ◎計 21 ○計 3 △計 8	